

9部

9月卒業者アンケート結果

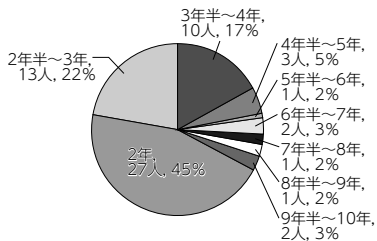
平成27年9月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の通信教育部での学習にご活用いただけたらと思います。今回13項目の質問内容を掲載いたしました。

【アンケートの概要】

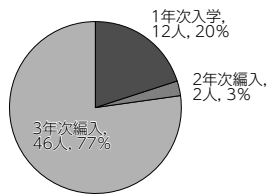
アンケートの回収状況は、社会福祉学科が44名、福祉心理学科が16名です（卒業生88名中60名、回収率68.2%）。本アンケートにご協力いただけた方の入学月は4月入学が7名、10月入学が53名で、その他の属性は下記のとおりです。

1 【回答学生の状況】

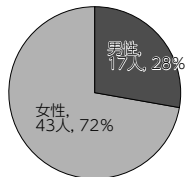
■卒業までの在学年数



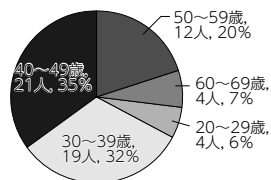
■入学コース



■性別

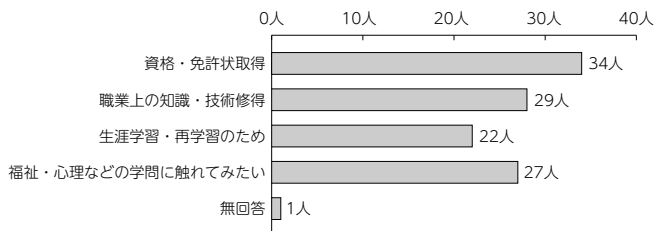


■年齢

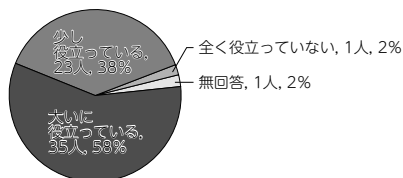


2 【本学通信教育部に入学された目的・理由と成果について】

■入学時の目的・理由について達成できたもの（あてはまるものすべて）。



■通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役立っているか。



3【通信教育部で学んだことで役立てていること、今後どのように活かしたいか】

～職場や地域で役立っている～

- ・ケアマネとして介護対策支援業務に携わっていますが、利用者、家族、すべての人への人間理解にとっても役立っている。対象者の側に立ち、考えること、その人を取り巻く成育歴、現在の社会環境にも目を向ける視点を持つことができた。
- ・職場や家庭の人間関係においても自分の考えを押し付けるのではなく、相手を理解しようと努める気持ちが強くなった。その結果、スムーズに関係を構築できていると思う。
- ・仕事を行う上での根拠となった。違う視点から仕事をみることができ、仕事の幅が広がったように思える。
- ・施設相談員として介護保険以外にも社会保障が地域との連携が常に必要であるため、学習している内容がリアルタイムで仕事に役立った。
- ・大学のときには座学で理解度が低かったが、通信で学習してからは普段の実践で自分が何をやっているのか知ることができた。社会福祉士とは何なのかを伝える力を持つことができた。
- ・特別支援学校で勤務しているので「障害の理解」「知的障害者福祉論」等の科目はとても参考になりました。

～日常生活で役立っている～

- ・両親の体調に合わせた医療制度、保険制度について学ぶことができた。制度について家族に説明することもできた。自分自身の関係する医療制度についても詳しく知ることができ、実際に病院のクラークさんが見逃したことについて意見を言うことができた。
- ・現在は原発で避難してきている孫たちを世話するのに、孫たちへの接し方についても落ち着いて接することができる。

～自身の見方・成長につながっている～

- ・価値観や概念が変わった，広がった。
- ・考えていることの学問的裏付けがあるという自信が持てるようになり，迷うことが少なくなった。
- ・仕事中に自分の感情が大きく振れそうになった時，客観的に自分や周りを見ることができるようになった。
- ・社会福祉制度の歴史が学べたことによって今の制度の趣旨がよく理解できるようになった。
- ・心の構造や社会心理学の知見は学ぶところが多く，大きな学びとなりました。
- ・人，社会への理解などで自分自身がどういう傾向でものを見ているか，考えているのか，よくわかったように思います。生きづらい想いを抱えている人の気持ちに寄り添えるようになったと感じます。
- ・人間関係の構築や考え方の違いについて，心理学の基礎を学んだおかげで，冷静に客観的に物事を考え，感じようという思考に変えることができています。常に自己覚知し，前向きに成長していこうと考えていくようになった。
- ・入学以前は物事を考えるときの幅が狭かった。物事を多角的に捉えることができるようになったと思われる。また，座学と実習を通して障害を抱えている人の理解や施設の様子，支援を行う職員についても学ぶことができ，とても役立った。

4 【学んだことを今後に活かしたいこと】

～職場（利用者）に活かしたい～

- ・より相手（患者，利用者）にとって不利益とならないよう，日々学び努力していきたい。
- ・現在，多世代交流の場で働いていますが，日々の生活の中で生じる課題・問題を一人で抱え込むことなく，生活全般の問題等相談の窓口として他機関と連携しながら，学習で得たことを活かしていきたいと思う。地域の生活に根差した，また地域に開かれた生活者にとっての最初の気軽な窓口でありたいと思う。
- ・職場内で得た知識でもっと利用者さんのことを深くまで考え，関わりをもてるようにしていく。他の業種・職種や機関とさらに連携していく。
- ・介護支援専門員の仕事をしていたため，知識の不足さや考え方の未熟さを実感したため，通信で学ぶこととなりました。まずは家族になにかあった時に対応できる力を身につけて行きたいと思います。

～転職・ステップアップに活かしたい～

- ・もちろん、相談援助の活動の場での仕事に就くことを考えています。
- ・今後はステップアップして、転職したいのが一番です。自分の夢に向かい活かしていきたいです。
- ・児童福祉分野に挑戦したい。
- ・自分のやってみたかった仕事に転職し、学んだ知識を活かして今までの経験と融合させ、これまで以上の福祉職としての実力をつけて、仕事に向かっていく。
- ・相談援助者として声なき声を拾い、支援していくことに役立てたい。病院でのケースワーカーや社協でのコミュニティソーシャルワーカーとして仕事をしてみたい。

～地域・社会に活かしたい～

- ・より良い社会の構築のために活かしていきたいです。
- ・高齢化社会になり、地域の人たちとの交流を大事にし、住みなれた地域で元気に過ごせるようなボランティア等をして絆を大事にしていきたいと思いません。
- ・仕事上、また生活していく上で社会との関わり方等に活かそうと考えています。
- ・多くの障害を持った方々が地域で「つながりをもって」生活できるよう働いていきたい。
- ・介護の仕事についたことから、福祉というものをより深く学びたいとはじめたのだったが、学びを通して今後の自分像を考えるようになった。様々な福祉の分野において、自分の住む地域に貢献していける福祉の人材として、活躍できる場を目指していきたいと考えている。

～家族に活かしたい～

- ・家族のために社会制度の知識を活かしていけると思う。こども達に対して年金のことについてアドバイスできると思う。
- ・息子が障害を抱えており、今までの経験が私に多くのものや人の出会いをもたらしてくれた。学んだことを活かしながら、社会福祉の援助支援を必要とせざる得ない人、または言えない人たちの支え合えるような仲間作りをしていきたい。

～自身の成長に活かしたい（学び続ける・大学院など）～

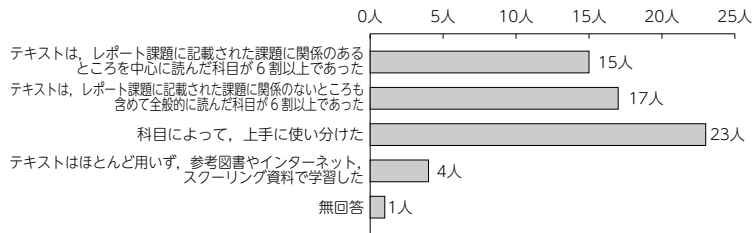
- ・「人間」を理解する（自分、他人を）ことで一面的な価値観に束縛されるこ

とがなくなって、生きやすさが増してくる実感を得ている。今後も学びを続け、並行してボランティア活動を通じて人間理解を深めたい。

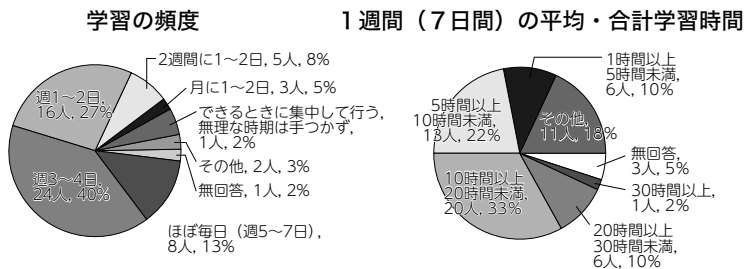
- ・学んだことが多いと同時に、学びきれなかった分野もあり、卒業後も学びを深めて、幅広く知識向上に努めたいと思います。
- ・大学院に進学予定。
- ・福祉心理学科に所属しましたが、職場が社会福祉法人でしたので、結局社会福祉関連の科目を多く履修し、取得しました。心理学や福祉関連問わず幅広く科目を学習したことで、視点が広がり、公私共々様々な事象に対して理論的に他者に伝える、文章化する訓練ができましたので、国家試験受験と併せさらにスキルアップを目指したいと考えています。

5 【学習全般について】

■テキストをどのように活用したか（あてはまるもの1つに○をつけてください）。



■普段の学習時間について。



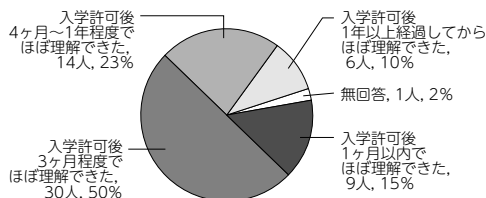
（おおむね。教科書を読む時間、参考文献を探す時間、レポート学習・オンデマンドスクーリング、国家試験対策を含む。ただし、会場スクーリングの受講時間は除く）

■辛いと感じたときの克服方法や対処方法。

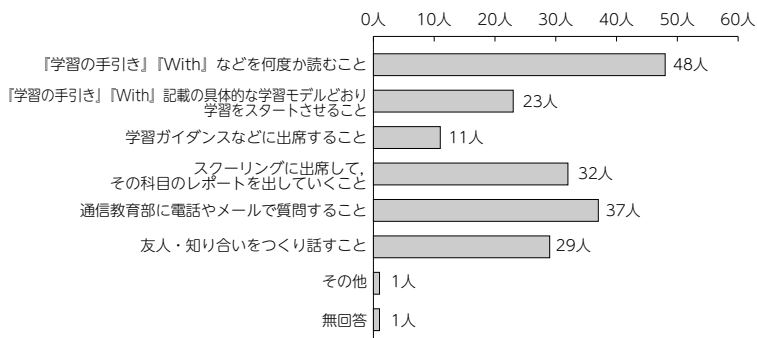
- ・空いている時間を見つけて隙間学習をした。
- ・課題集のアドバイスを何度も読み返した上で、テキストや資料などを読みました。『with』の体験談他、とにかく出してみようという内容が書かれた文章を読むことで気持ちを切り替えました
- ・教科書以外の本も読んでみて、字数がクリアできたらとりあえず提出してみました。
- ・レポートに関してはスクーリングに行き、先生の考え方を聞くことで自分の考えをまとめていくことができた。そして実践の中で感じたことを合わせて考察した。

6 【入学された際の不安（単位修得方法や基本的なルール、レポートの書き方など）について】

■レポート・科目修了試験・スクーリングなど科目の単位修得方法の基本的なルールは入学後どの程度でほぼ理解できたか。

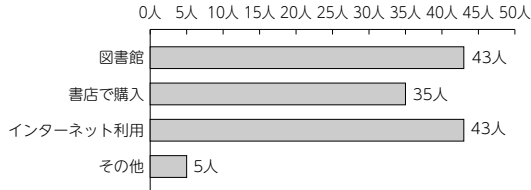


■不安点や不安について、どのように解消しようとしたか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

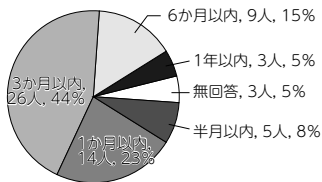


7 【レポート学習について】

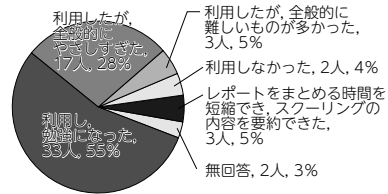
■テキスト以外に参考文献（資料）を利用した方の入手方法（あてはまるものすべてに○をつけてください）。



■初めてレポートを提出した時期はいつか。



■スクーリング受講者専用別レポート（○×式、穴埋め式など）について

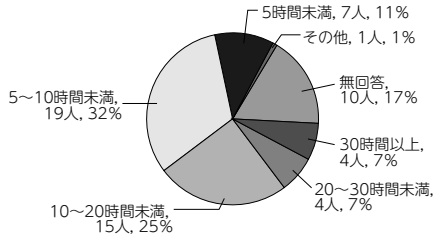


■レポートを書くのにどのような点で苦労したか。

- ・範囲が広すぎてどこからどこに着目すればよいのか分からず放置してしまった。資料選びから難しかった。
- ・どの科目ということはないが、レポートの書き出しをどのようにするかをよく悩んだ。作成している途中で自分の考えていた理論が変化してしまった際、1から作り直すか、なんとか整合性を整えるかも迷った。
- ・自分の経験や考えを問われるレポートは難しかったです。教科書に答えが書いてないからです。
- ・レポート課題集のアドバイスに添って書いたつもりが、まだまだ先生の意図とは違っていったようで、どう書くべきかかなり悩みました。

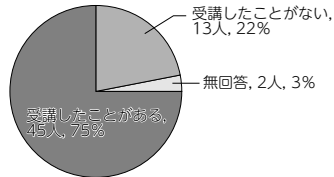
8 【科目終了試験について】

■ 1科目の科目修了試験準備に要した平均延べ時間はどれくらいか。

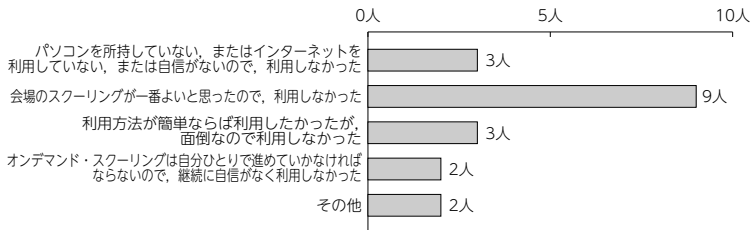


9 【オンデマンド・スクーリングについて】

■ オンデマンド・スクーリングを受講したことがあるか。

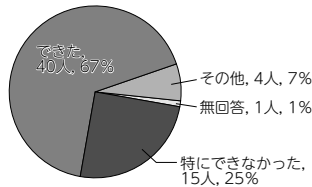


■ オンデマンド・スクーリングを受講しなかった方の理由（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

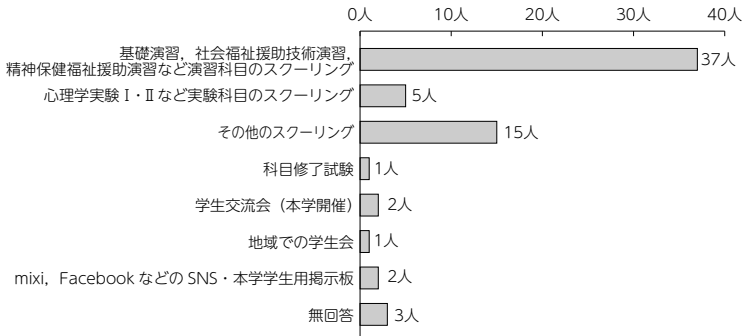


10【通信教育部内の学習仲間について】

■通信教育部で共に学ぶ「学習仲間」はできたか。



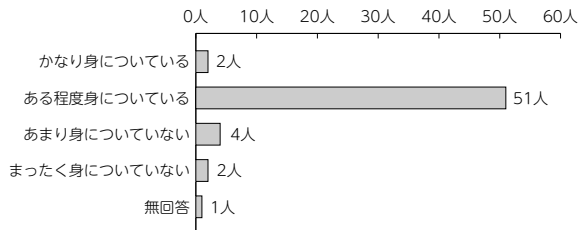
■「学習仲間」はどのようなことがきっかけでできたか（複数回答可）。



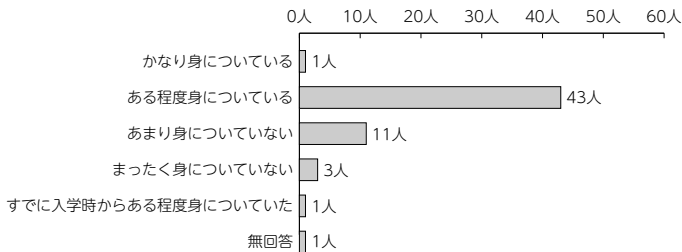
11【自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びのなかで身につけた（または「向上した」を含む）と思うものについて（主観的な判断で、一番あてはまるもの1つに○をつけてください）】

■知識・理解など

①（社会福祉学科・社会教育学科の方）社会福祉・社会教育に関する基礎的な知識（福祉心理学科の方）人の思考・感情・行動の原理や法則，理論について説明できる心理学の基礎的知識。

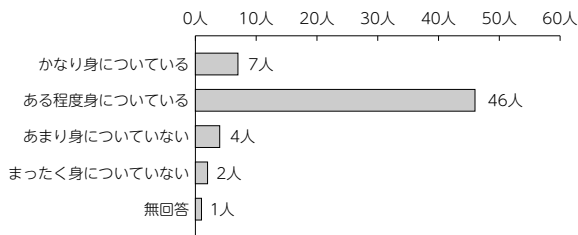


②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的問題への支援に利用できる実践的知識。

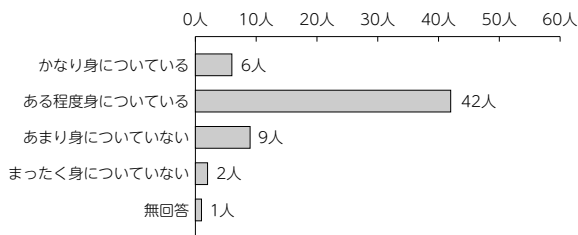


■汎用的技能など

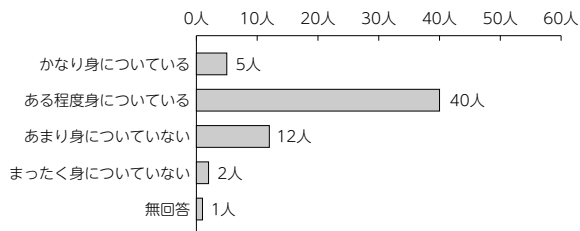
③多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもち人々とコミュニケーションをとる力。



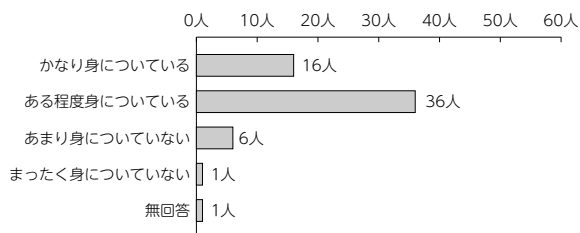
④求められる成果の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者へ伝える力。



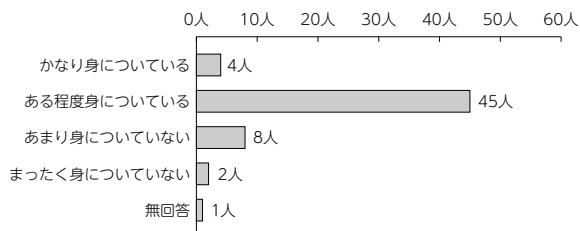
⑤根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



⑥参考図書やインターネットを用いて必要な情報を収集する力。

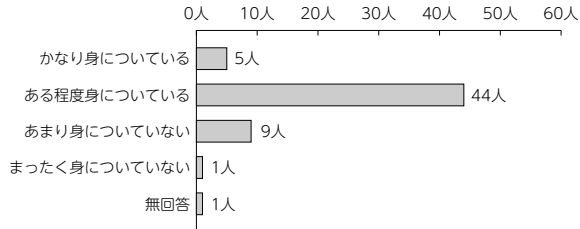


⑦自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力。

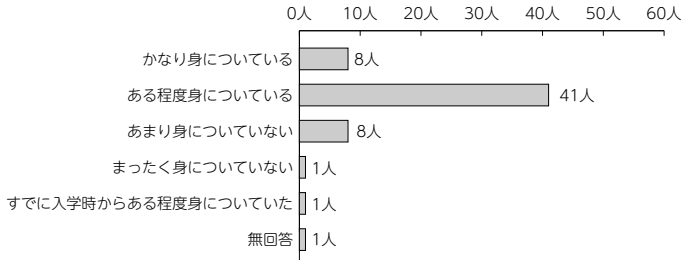


■態度・志向性など

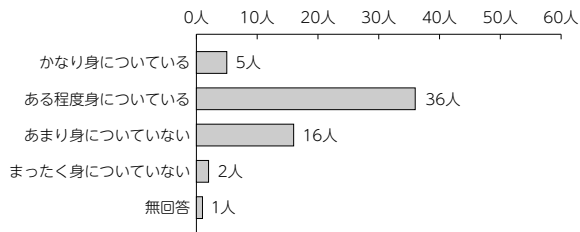
⑧時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力。



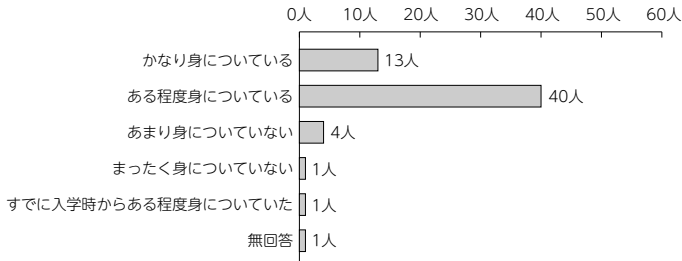
⑨他者に配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



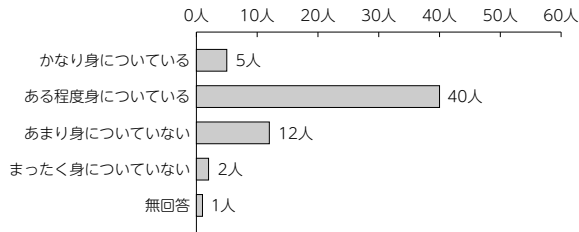
⑩自分に対する自信が身についた。



⑪人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢。



⑫卒業した学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力。

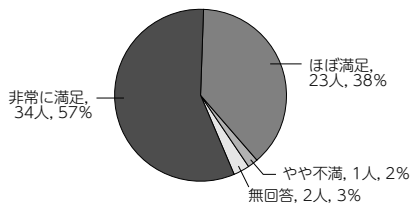


12【通信教育部での学習を振り返り、スクーリング・レポート学習で印象に残ったこと、卒業時までよく記憶していること（自由記述）】

- ・社会福祉に関してとても幅広い分野について学習することに驚いた。「児童・家庭福祉論」は最初の現地スクーリングであった。社会のひずみの影響は未来ある子どもたちに一番響いて行くということ。社会を作っていく大人の責任を強く感じた。「社会福祉原論」の田中先生の講義が一番印象に残っている。福祉の歴史の背景はあるものの、その変遷を学ぶことが現在の福祉の学びに非常に役立つ。また、先生の深いものの見方に感銘を受けた。一生忘れない。
- ・何のために資格をとるのか、誰のために行う仕事なのか利用者に不利にならないことが大切。
- ・「社会福祉原論」です。講義も分かりやすく、原論という堅そうな思いはなく、終始楽しく受けることができました。大学で勉強するということなのかなど感じたのを田中先生の講義を受けて良かったという思いでした。もう少し田中先生の講義を受けたかったです。

- ・各講師の先生方の講義は非常に興味深く、個性があり、それまでの自分の概念を崩して広げるものでありました。受講したすべての科目でスクーリング（オンデ含む）を受けました。
- ・福祉の幅広い分野を学べたことは、高齢者福祉のみならず、世界観を持てたと感じている。特に障害者福祉においては、障害者の線引きについて考えさせられることが印象に残っている。個々の人間として、そして人と人との関わりについて、深い意味で人間観を追求できるきっかけを得た思いである。
- ・「人格心理学」のレポートは、今まで生きてきた中で消化しきれなかった、いろいろな思いを消化することができたので、皆川先生に本当に感謝しています。
- ・「福祉社会学」の授業は興味深くわかりやすい授業でした。福祉社会学という分野に関心が持てました。少人数でのスクーリングは仲間意識を持ちやすく、学習の励みになりました。

13 【あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できたか】



～満足できた具体的な内容～

- ・先生方の授業には魂がこもっていました。これまで先生が感じてきたことや実体験からの方向性、制度や取組みについての感想、今後あるべき姿等、本やTVでは知ることのできない生の声がひしひしと胸に迫ってきました。どの先生方も人間性豊かでとても魅力的に感じました。すばらしい教師陣に恵まれたこと、本当に福祉大に入ってよかったと思っています。
- ・講師の先生方の教授される熱意や懇意がよく伝わってきて、自分も頑張ろうという意欲につながりました。また、事務局の方々にも丁寧細かいことを教えていただき、特に学習の申込みをした際や辞退した時にも親切に対応していただき、感謝しています。ありがとうございました。
- ・高校生の頃、なんとなく入りたと思っていた東北福祉大学へ、かなり年月を経て自分の意志を強く持ち、働きながら、家庭を持ちながら、子育てをしながら、卒業までできたことは感慨深いです。先生方、職員の方、職場の方、そして家族に感謝したいです。

- ・入学当時は介護老人保健施設で働いていました。介護士として働いていた私は、より広く福祉の世界を学びたいと思っていました。入学後様々な視点で福祉の世界を学び、スキルアップ向上のためのよいきっかけとなりました。
 - ・とても豪華な講師陣でスクーリング内容も楽しく、わかりやすかったので、非常に満足しています。先生方も親身に指導してくれるので、この大学は私にとっては遠いのですが、選んでよかったと実感しています。スクーリングの初日開始時間が東京駅からでも朝早く乗れば間に合うので、やりやすかったです。
 - ・自分で時間を決めて学ぶことができること、反面自分で選択し決めることから先延ばしもありましたが、大学のレポートの厳しさや期間の厳守などから結局自分を追い込むことになり、苦しいと思いつつもやり通せた感じがします。大学の方で厳しくしていただいたことが良かったと思っています。スクーリングは各先生の熱のある講義を受けることができ、大学で学ぶことを実感しています。
- ◆本アンケートにご協力いただきました卒業生の皆様にはお礼を申し上げますとともに、ますますのご活躍を祈念いたします。次号では、実習・国家試験対策についてのアンケート結果をご紹介します。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●カウンセリングⅠ 渡部純夫先生 2016. 2. 6～7 東京

- ・カウンセリングについてほとんど知識も経験も乏しく不安でしたが、先生が少しでも理解できるようにかみ砕いて熱心に説明して下さったことに感謝します。まだ、学習不足で充分ではないが基本を知ることができて興味関心が湧きました。
- ・カウンセラーの仕事に興味はありましたが、授業を聞いて受容や共感などの聞く姿勢はもちろんのこと、相手としっかり向き合うことや、上手いかないときの工夫の仕方など様々な角度からカウンセリングを考えることが重要であることを学びました。
- ・相手とのかかわり方を学ぶつもりで受講したにもかかわらず、自分自身を鑑みることとなり、まずは自分をよく知り、自分の価値観や基準をしっかり持たなくては相手を支えていくことは難しいと痛感した。また、知識を蓄え身につけて、自分の力量を常に客観的に見て、できることとできないことの見極められる目を養っていきたいと思った。

●カウンセリングⅡ 萩原豪人先生 2016. 2. 13～14 仙台

- ・カウンセリングを行うのに、初回面接の大切さが良く理解できた。クライアントの言葉を繰り返すことは、ただオウム返しをしているだけではなく、クライアントの言葉を最大限に尊重していることがよく分かった。
- ・実際の事例を出してもらったことで理解が深まりました。カウンセリングは素晴らしい仕事だと思いました。ものをいろいろな視点から見れることは、自分自身にも幅が生まれことにつながると感じました。
- ・先生自身が経験されたことや話を聞いたことなどを事例に挙げて説明してくれたので、分かりやすかった。グループワークでは、自分が考えたり思いつかなかった意見を聞くと、様々な視点が広がり学習になった。
- ・カウンセリングにおける「質問」について、今まではカウンセラー側が「聞きたい話をクライアントから引き出すもの」と考えていたが、クライアントが「話したい話を引き出すこと」が質問のコツであると学ぶことができた。
- ・精神科で看護師の仕事をしています。患者さんと関わる時、長い時間を取れることばかりではないですが、必要である時を見極めてしっかり効果的な関わりをすることができるようにしていけたらと思いました。